

プレスリリース

今年のテーマは「エコネイティブなライフスタイルへ」
新宿御苑で元気になる、子どもたちに笑顔を！
第6回ロハスデザイン大賞2011 新宿御苑展
開催のご案内
2011年5月20日（金）～22日（日）

一般社団法人ロハスクラブ（東京都中央区、代表理事：小黒一三）は、今年も5月20日（金）から22日（日）までの3日間、環境省（チャレンジ25キャンペーン）との共催により、国民公園 新宿御苑にて「第6回ロハスデザイン大賞2011 新宿御苑展」を開催いたします。

本展は6月5日（日）・環境の日に行われる大賞発表に先駆け、「第6回ロハスデザイン大賞2011」最終エントリーの展示・投票を含む様々なイベントで構成された、地球温暖化防止や生物多様性保全はもとより、震災復興のための様々なアクションや、子どもたちが笑顔で遊べるようなアトラクションなども開催。「見て」「触って」「学ぶ」ことができる参加体験型イベントです。

-主なイベント内容-

- ① ロハスデザイン大賞「ヒト」「モノ」「コト」最終エントリー候補の屋外展示・投票プログラム
- ② 今年も緑溢れる新宿御苑に「チャレンジ25ハウス」が出現！木造パッシブのエコハウスです！
- ③ 「冷やすのではなく、涼む」。夏の節電を快適に過ごす、様々な工夫と知恵が大集合！
- ④ 子どもたちの遊び場！紙管こどもイスづくり無料セミナーほか、様々なアトラクションを開催！
- ⑤ 5/21・22は新宿御苑でラン&ウォーキング！緑の芝生の上を、親子で歩いてみませんか？
- ⑥ 東北復興のためにできること。被災地を支援するNPO団体の紹介や支援プログラムを展開します。
- ⑦ その他（多彩な音楽ステージ/ロハスな健康講座/ワークショップなど）

今年のロハスデザイン大賞のテーマは、

「エコネイティブなライフスタイルへ／新宿御苑で元気になる、子どもたちに笑顔を！」

新宿御苑に会場を移してからは5回目となる今年の「第6回ロハスデザイン大賞2011 新宿御苑展」のテーマは、「エコネイティブなライフスタイルへ」です。

エコネイティブとは、自分の暮らしと環境への貢献が素直につながっている人のこと。エコは「当たり前」のことと考えるライフスタイルです。私たちの生活に大きな損害を与えた東日本大震災。復興が始まる新しい社会が希望に満ちたよりよきものとなってほしい。今回はそんな願いを込めた環境イベントとして開催します。



まずは、ロハスデザインの大賞を決めるヒト・モノ・コトの各部門のエキシビションに注目。今年はエコネイティブを意識した総数80点のヒト・モノ・コトの最終候補を展示します。

また、昨年に引き続き、再生エネルギーの活用やエネルギーコンシャスな技術や知恵を集めた「チャレンジ25ハウス」を設置。さらに会場内には、被災地で必要とされる物資を来場者が持ち寄れるブースを特設、チャリティイベントや、子どもたちが笑顔になれるような、様々なワークショップを実施します。

爽やかな風が吹く新宿御苑でエコネイティブ・スタイルを体感してください。
（詳細は次ページ以降をご覧ください）

第6回ロハスデザイン大賞2011 新宿御苑展のご紹介

■開催概要■

行事名称 : 第6回ロハスデザイン大賞2011 新宿御苑展
主催 : 一般社団法人ロハスクラブ
共催 : 環境省(チャレンジ25キャンペーン)
開催場所 : 東京/国民公園 新宿御苑(東京都新宿区内藤町11)
開催期間 : 平成23年5月20日(金)~22日(日)3日間
時間 : 9:00~16:30(入場は16:00まで)
入園料金 : 新宿御苑入園料として 大人1名200円/小中学生50円/未就学児童無料
特別協賛 : 味の素KK/YKK AP/良品計画/エヌ・シー・エヌ
特別協力 : 特定非営利活動法人CANPANセンター/東海大学チャレンジセンター
制作運営 : 月刊ソトコト(木楽舎)
後援 : J-WAVE 81.3FM



①ロハスデザイン大賞「ヒト」「モノ」「コト」最終エントリー候補の屋外展示・投票プログラム



市民・企業・行政にとって、「ロハス」(=地球環境保護と健康な生活を優先し、人と地球が共生できる持続可能なライフスタイル)は、欠かすことのできない重要なテーマです。

そのような観点から、ロハスクラブでは、第6回目となる本年度のロハスデザイン大賞のテーマを「エコネイティブなライフスタイルへ!」とし、「ヒト」「モノ」「コト」の3つカテゴリー別にエントリーの一般公募を行いました。

当イベント会場では、一般会員(個人インターネット審査会員)からの予備投票とロハスクラブ評議会による予備審査にて選ばれた、最終エントリー約80点を展示いたします。

大賞は、当イベントの来場者による投票と一般会員によるインターネット投票(<http://www.lohasclub.jp/>)によって決定し、6月5日(日)・環境の日に発表、翌6日(月)「第6回ロハスデザイン大賞2011発表授与式」(東京・銀座/巴馬ロハスカフェ)にて、「ヒト」「モノ」「コト」3部門の大賞を発表いたします。

②自然エネルギーを楽しむパッシブ・エコハウス「チャレンジ25ハウス」が、今年も新宿御苑に出現!

地球温暖化をとめるには、企業や個人の「チャレンジ」が必要です。私たちのチャレンジが社会をつくり、私たちの選択で、未来の地球を変えていくことができます。

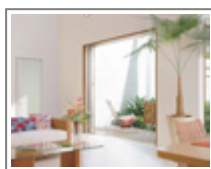
「チャレンジ25キャンペーン」は、CO2マイナス25%を達成することを目的にスタートした、新しい国民運動。オフィスや家庭など私たちの暮らしの中で実践できる具体的なアクション「6つのチャレンジ」に楽しみながら取り組んでみませんか?ロハスデザイン大賞・新宿御苑展では、新しい社会を創っていくための、知恵と技術を集めて展示します。

そんな、新宿御苑展の目玉企画が、「チャレンジ25ハウス」です。5月の新宿御苑に、エコハウスが登場します。

今年のハウスは、木造2階建て。太陽、風、木、植物。そんな自然の恵みを活かしたエコハウス。「窓」を通じて太陽の光や風を上手に取り入れ、植物を利用して遮熱性を高める「緑のカーテン」など、パッシブ志向の木造住宅は、電気の消費量を抑えながら、快適な住空間、暮らしを実現する、これからの家の新しいスタンダードです。エネルギーの節約とCO2の削減にもつながる暮らし……。その快適さを新宿御苑で体感してみてください。



<チャレンジ25ハウス Ver.2.0>



- 写真左から
パッシブはウス仕様のチャレンジ25ハウス ver.2.0
YKK AP 「グリーンブリーズ、ウチとソトをつなぐ窓、複層窓の提案」
エヌ・シー・エヌ 「木の温もりを、最先端の技術で。重量木骨のSE構法」
適材適所の会 「低温乾燥による温もりのある杉材」

③ 【冷やすのではなく、涼む】

夏の節電を快適に過ごす、様々な工夫と知恵が大集合！



今夏、ひっ迫する電力供給量に対して、私たちができること。それが「節電」です。暑い夏を快適に過ごすためのキーワードが「冷から涼へ」。エネルギーを使って「冷やす」のではなく、知恵と工夫で「涼を得る」。我慢の節電ではなく、エネルギーコンシャスなライフスタイルを考えてみます。

例えば、ゴーヤや蔓科の植物による「緑のカーテン」をつくってみたり、「葦簀」や「打ち水」「風鈴の音」で涼感を得ることは、日本の暮らしの文化のなかで息づいてきた知恵。



そして、使っていない家電製品や電気をこまめに節約することも、生活のなかでできる節電、そして、エコ・アクションです。

本展では、環境省/チャレンジ25キャンペーンのブースを中心に、「涼」を得るための工夫を凝らした様々なアイデアを展示しています。あなたも探してみてください。

④ 【子どもたちの遊び場！】

「紙管こどもイスづくり無料セミナーほか、様々なアトラクションを開催！」

子どもたちに笑顔を！ 今年の新宿御苑展では、子どもたちの遊び場をつくってみました。

例えば、無印良品によるワークショップは、「マイチェア - 自分でつくる紙管こどもイス」。再生紙でできた角紙管を材料に使った、無印良品のこども用のイス。親子で協力しながら組み立てます。できあがったら、自由に絵を描いて自分だけのイスに仕上げることがもできます。自分でつくったモノだから、ずっと大事に使いたい。新宿御苑の空の下でのワークショップに参加してみませんか？この他にも、「東京おもちゃ美術館」による子どもたちのためのワークショップも開催します！



<無印良品・じぶんでつくる紙管こどもイス展>

●日時：5月21日（土）22日（日）

10:00～/12:30～/14:30～（各日3回）

⑤ 【5/20・21・22は新宿御苑でラン&ウォーキング！】

緑の芝生の上を、親子で歩いてみませんか？

太陽の下、青々とした芝生の上を爽やかな風を感じて走る。新宿御苑を走りながらCO2削減の大切さを考える、人気の「エコ・ウォーキング」。今年も、スマイル アフリカ プロジェクトも参加して、使われなくなったシューズを回収して、アフリカの子どもたちに寄贈します。

子どもたちが成長するに従って、まだまだ使うことができるのに履けなくなってしまったシューズを回収して、裸足での生活を余儀なくされているアフリカ・ケニアの子どもたちに寄贈するスマイル アフリカ プロジェクトは、シューズがなくなぐ国際社会貢献であり、環境貢献活動（省資源）です。エコ・ウォーキングでは、ご参加いただける方々に、ご自宅などで不要となったシューズを持ち寄っていただくことを呼びかけながらの開催となります。

【ゲスト】

5月20日（金） 高橋尚子さんが来苑。同プロジェクトのフロントランナーであり、シドニー五輪女子マラソン金メダリスト。トークイベントも実施します。

5月21日（土） 勅使川原郁恵さんが来苑。ウォーキング指導者であり、ヘルスケアスペシャリスト。参加者と一緒にウォーキングに参加予定。

【協力】

スマイル アフリカ プロジェクト、アミノバイタル、サラヤ、佐川急便

⑥【東北復興のためにできること】

被災地を支援するNPO団体の紹介や支援プログラムを展開します

東北を元気にしているボランティア団体が活動報告



東日本大震災の復興に向けて、石巻や陸前高田、相馬など、被災地で支援活動をしている団体らが、それぞれのボランティア活動を新宿御苑でレポート。ボランティア現場からの貴重なナマの声をお届けします。ここでは、共同でオリジナルの東北支援バッジの発売や、東北の生産者の野菜の販売や震災ワークショップも開催予定。また、被災地が必要とする物資も集めます。現時点では、「腕時計」「使い捨てカメラ」「洗剤」「ランタン」を募集（随時、ロハスクラブのHPでアップします）。東北を新宿御苑から元気にします！

<参加団体>

- みんつな
- ピースボート
- RQ 市民災害救援センター
- プラス・アーツ
- 相馬救援隊
- 日本 GAP 協会
- バイオディーゼルアドベンチャー

東海大学チャレンジセンター

仮設地から本設地などへ何度でも再築が可能。

ウッドブロックシステムを採用した資源循環型仮設住宅。

東海大学チャレンジセンターによる、学生を中心とした「3.11 生活復興支援プロジェクト」は、学内外の多様なヒューマンネットワークを活用し、新しい発想による生活復興支援を展開しています。その一例として「持続可能な開発のための復興支援」を目的とし、国産材によるウッドブロックを利用した躯体構造に、自立型のソーラー発電&蓄電装置を組み合わせた、創エネ+畜エネ+省エネ=非常時にも強い、資源循環型仮設住宅「どんぐりハウス」は、1棟が被災地のニーズに応えるかたちで、岩手県大船渡市に公民館として完成。新宿御苑にて設置される1棟は、イベント終了後、別の被災地に移築されることになっています。



⑦その他（多彩な音楽ステージ/ロハスな健康講座/ワークショップなど）

ロハスステージプログラムには、一緒になって体験できる「朝ヨガ」「ウォーキング・レクチャー」などの健康イベントのほか、高橋尚子さんや荻原次晴さんらによるトークイベント、クラシックコンサートやJ-WAVEの公開ライブなど、盛りだくさんです。

●ステージでのロハスイベント

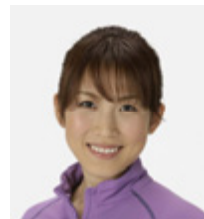
写真左から

小林愛のヨガ

連日（9:30～）

勅使川原郁恵のウォーキング・レクチャー

5/21（土）（10:00～）





●ステージでのトークイベント

写真上段左から

5/20 (金)

山田周生 (12:00~)

高橋尚子、三遊亭金時 (14:30~)

写真下段左から

5/22 (日)

荻原次晴、福岡伸一 (13:30~)



●ステージでの音楽イベント

写真上段左から

5/21 (土)

羊毛とおはな (12:30~)

が〜まるちよば (14:30~)

写真下段左から

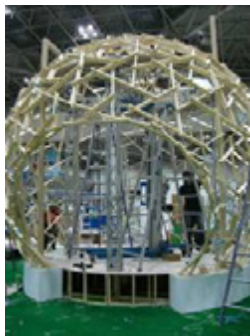
5/22 (日)

カサリンチュ (12:30~)

ECO アイドリング!!! (14:30~)



また、ロハスシンボルには、地球にやさしい空間を提案。ジオデシック・ドームが登場予定です。



[グリーンオペレーション] 環境負荷の小さな運営、自然エネルギーの活用について

本展の設営及び運営にあたっては、都会のオアシスである「新宿御苑」の環境になるべく負荷をかけないエコロジカルな展示運営を行います。本展に使用する電気については、昨年に引き続き、バイオディーゼルにより稼働するジェネレーターを設置。燃料には、てんぷら油の廃油由来のバイオ燃料・VDF (Vegetable Diesel Fuel) を使用することで、CO2排出量ゼロのカーボンニュートラルな運営を実現します。また今年から太陽光発電パネルも導入し、クリーンなエネルギーを提供いたします。来場者の方々にも、公共交通機関の利用、クルマ利用時の乗り合わせの工夫、マイ箸やマイボトルの持参を呼びかけ、環境負荷の低いイベント開催を目指します。

<このリリース・取材に関するお問い合わせ>

一般社団法人ロハスクラブ 宣伝広報室 増田 千絵里

〒104-0045 東京都中央区築地7-12-7 築地FTSビル5F

TEL : 03-3524-9757 / FAX : 03-3524-9675 / Eメール : masuda@sotokoto.net